

和歌山への提言

システム工学部

学籍番号：60151057

名前：臧乾

提出科目：日本事情

担当先生：長友 文子先生

「因材施教」は孔子の教育スローガンで、学習者の能力や個性に応じて教育するという意味です。教育だけではなく、さまざまな分野でよく使える論理です。たとえば、和歌山への提言について、この論理が一番大切だと思います。

住みたい町の特徴について、中国と和歌山の方の中でアンケートしました。中国人と日本人の住みたい町の特徴の違うところがわかりました。中国人はこともが一番大切と考えます、そのあつとは家族、社会、自分、仕事の大切順番です。しかし、日本人は仕事、社会、自分、家族、子どもの大切順が当然だと考えます。

この違いで中国人が遊園地やことものための設備が多いところに集まる、一方日本人は遊園地について仕事よりあまり気にしません。また日本人は仕事後、よく同士と一緒に飲みに行きます、だから、会社は多いところはラストランが多いです、ラストランが多いところは近くに会社もおおいです。例えば、難波、梅田の近くにラストランと会社がおおいです。

だから、日本人大好きな町が中国人すきな町ではないです、同じに、中国人好きな町は日本人がそんな町がいやかも知れない。例えば下の図は中国のある市の中心と大阪の難波の写真です。どちらでもたくさんの人が集まっていますか、大きい違いがあります。中国のその市の中心は遊ぶところですか、大阪の一つの中心難波はラストランがいっぱいあります。ことものための遊ぶところではありません。もし二つの場所の人を交換すると、はじめは面白いとおもいますか、時間が長くなると、不便や嫌になると思います。



(大阪 難波)



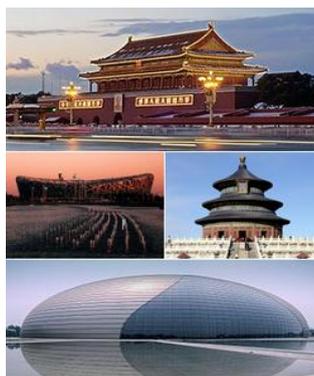
(中国)

中国の文化と日本の文化は同じのところが多いです。それでも町の中心が違います。文化の違いが多いところと比べたら、町の中心の雰囲気の違いも大きくなると思います。

そして、同じ国でも町が違います。例えば中国の北京と深圳市は多きい違いがあります。深圳市が金融対象とした総合的な世界都市ですか、北京は中国の歴史遺産と政治の中心である。だから、町の雰囲気が違います。



深圳市（しんせんし）



北京市

だから、和歌山に対して提言ということは地方の状況に応じることは一番大切です。

まず、和歌山の状況をよく考えます。和歌山は、自然環境、歴史、農水産物、観光、温泉等々豊かさを存分に享受できることは特徴です、さらに、大阪経済圏の南に位置している。関空空港、白浜空港の二つ空港があって、大阪との交通も便利です。

次に、和歌山の状況で、立場を考えて、どのような町を作りたいことを決めておくことです。どんな町でもいやと思う人がいます、全員満足することはできません。だから、どんな人を集まることを決めておくことは大事だと思います。これを決めないとバラバラな提言から選択できなくなります。

最後、一番集まりたい人以外の人のために、できる限りいろいろな方法を考えて、多くの人が好きな町を作ります。

「和歌山への提言について、「因材施教」論理が一番大切だと思います。和歌山の特徴を中心しなくて、バラバラな人好き町のように和歌山市を作ると、和歌山以外のかたを集まらないし、今和歌山に住んでいる人が和歌山をいやになってしまうと思います。和歌山の状況に応じて、和歌山を発展しましょう。

参考

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B7%B1%E3%82%BB%E3%83%B3%E5%B8%82>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E4%BA%AC%E5%B8%82>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%88%E5%8D%97%E5%B8%82>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9B%A3%E6%B3%A2>